

製品名	ウルトラクリアー（難付着サイディング仕様）
種別	ウルトラクリアーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg、5kg
用途	外壁
適用基材	意匠サイディング全般、無機系・光触媒サイディング、焼付金属サイディング、陶磁器質（釉薬）タイル

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)	
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。							
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	クリアベースハイパー [油性タイプ]	主剤	14.0kg	0.12～0.14kg (128～150m ²)	刷毛 中毛ローラー	1	4時間以上 7日以内	4時間以内
		硬化剤	4.0kg					
	PXシンナー		0～3%					
上塗り	ウルトラクリアー (艶あり/3分艶)		15.0kg	0.10～0.12kg (125～150m ²)	ウルトラローラー	1	—	—
		清水						

注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使ってください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 素焼きタイルのような多孔質のタイルやレンガには施工を避けてください。
- クリアベースハイパー [油性タイプ] は陶磁器質タイル面での漏水やエフロを抑制するものではありません。
- クリアベースハイパー [油性タイプ] を上塗り材として使用することは避けてください。
- 上塗り材に艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意し、面を通して施工してください。
- クリアベースハイパー [油性タイプ] は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- クリアベースハイパー [油性タイプ] 混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- 下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は施工できません。
- チョーキングが目立つ下地は塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- シーリング面に塗装する場合は、変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。
- 弱溶剤形製品は取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラクリアー（難付着サイディング仕様）
種別	ウルトラクリアーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg、5kg
用途	外壁
適用基材	意匠サイディング全般、無機系・光触媒サイディング、焼付金属サイディング、陶磁器質（釉薬）タイル

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)	
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。							
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	クリアベース ハイパー [水性タイプ]	主剤	14.0kg	0.10～0.15kg (100～150m ²)	刷毛 中毛ローラー	1	4時間以上 7日以内	6時間以内
		硬化剤	1.0kg					
	清水		0～6%					
上塗り	ウルトラクリアー (艶あり/3分艶)		15.0kg	0.10～0.12kg (125～150m ²)	ウルトラローラー	2	4時間以上	—
	清水		0～4%					

注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- クリアベースハイパー[水性タイプ]は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- クリアベースハイパー[水性タイプ]は攪拌初期では硬化剤がなじみにくいので調合する際は必ず電動攪拌機を使い十分に攪拌してください。また調合後は30分程度静置させてください。攪拌、静置が不十分だとハジキや付着不良の原因となる場合があります。
- 素焼きタイルのような多孔質のタイルやレンガには施工を避けてください。
- クリアベースハイパー[水性タイプ]は陶磁器質タイル面での漏水やエフロを抑制するものではありません。
- クリアベースハイパー[水性タイプ]混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- **ウルトラクリアーは必ず2回塗りしてください。**
- ウルトラクリアーは溝の深いサイディングや粗面などに塗料が溜まると白く白濁して硬化します。塗料だまりがないよう均一に施工してください。
- 上塗材に艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意し、面で通して施工してください。
- 下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は施工出来ません。
- チョーキングが目立つ下地は塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- シーリング面に塗装する場合は、変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH 以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。